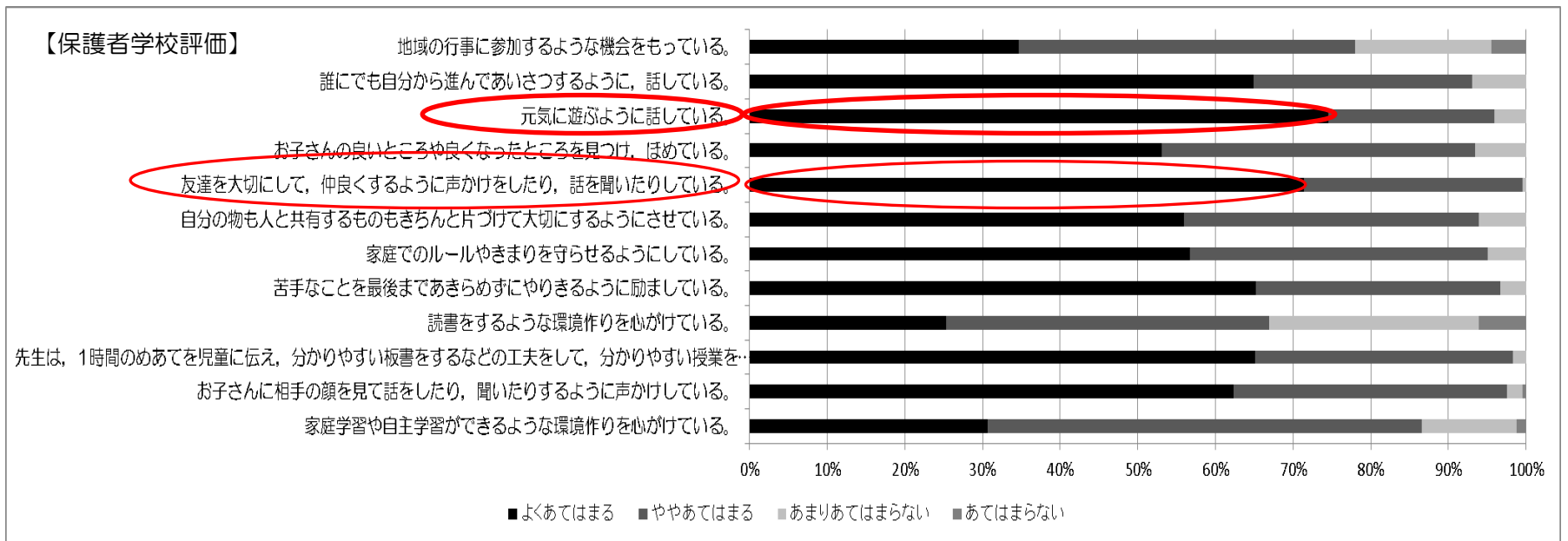


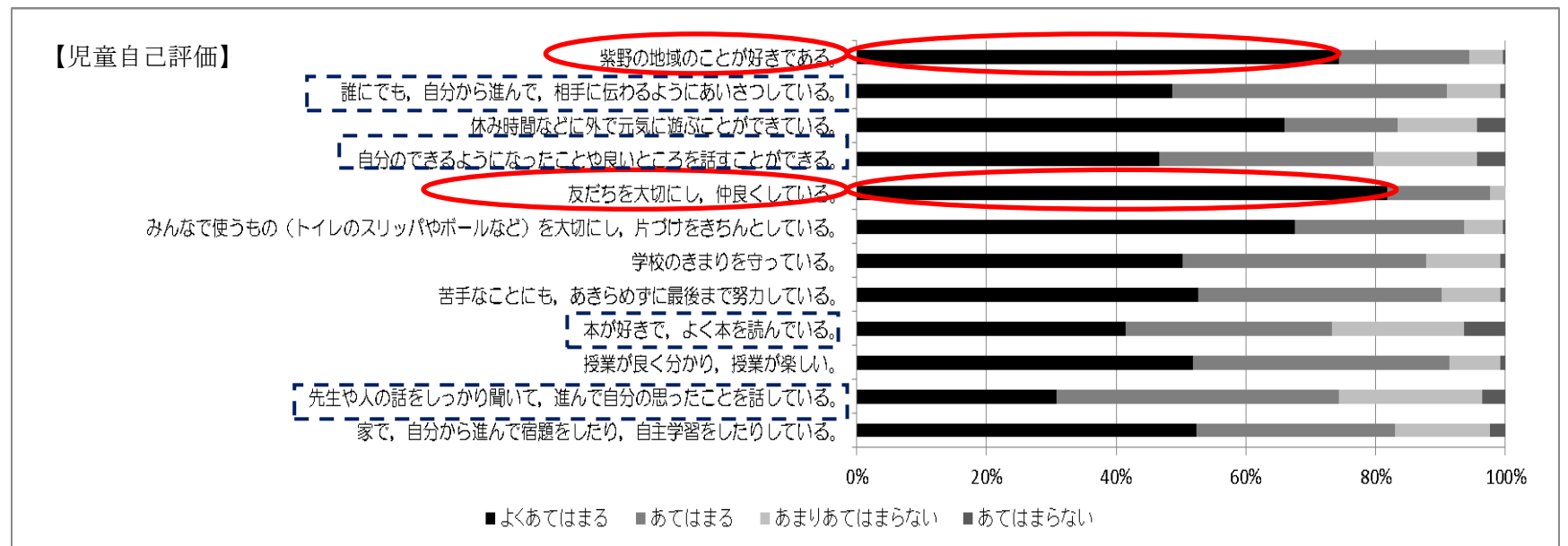
今回も、多くの保護者の皆様にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告させていただきます。



【保護者】

一番大切にしてくださっている項目が、前期と同様に「元気に遊ぶように話している」と「友達を大切にして、仲良くするように声をかけをしたり、話を聞いたりしている」でした。児童自己評価でも、一番「よくあてはまる」と評価している項目が「友達を大切にし、仲良くしている」でした。各ご家庭で大切にされていることが、子ども達にしっかり伝わっていることがよく

分かります。「休み時間などに外で元気に遊ぶことができる」の項目も、「よくあてはまる」と評価する児童の割合が高かったのですが、2番目に割合が高かったのは、「紫野の地域のことが好きである」という項目でした。今年度の研究の成果であると考えられます。



【児童】

児童自己評価で、「よくあてはまる」が50%に満たない項目は、「誰にでも、自分から進んで、相手に伝えるようにあいさつしている」「自分のできるようになったことや良いところを話すことができる」「先生や人の話をしっかり聞いて、進んで自分の思ったことを話している」の前期と同じ3項目でした。「あてはまる」と合わせると、80%に達しています。「進んで」「自分から」という積極的さの面であともう一步という様子が伺えます。今後も、「朝の挨拶運動」や「児童集会」、今年度から研究教科として取り組んでいる「生活科・総合的な学習の時間」を中心とした地域の方と関わる機会をより多く

もつことで、話すことに慣れ、自信をつけ、「話す・聞く」ことに楽しさを感じ、自主的・意欲的に活動できるように様々な取組を進めていきたいと思います。また、下記の教職員の評価から、「地域の行事に参加する声かけ」「読書をするような環境作り」等、より努力すべき内容に関しては改善を図りながら、学校目標である「紫野を愛し、夢に向かって主体的に学び合う人間性豊かな子の育成」に向けて教職員一同より一層努力していきたいと思っております。来年度も引き続き、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

